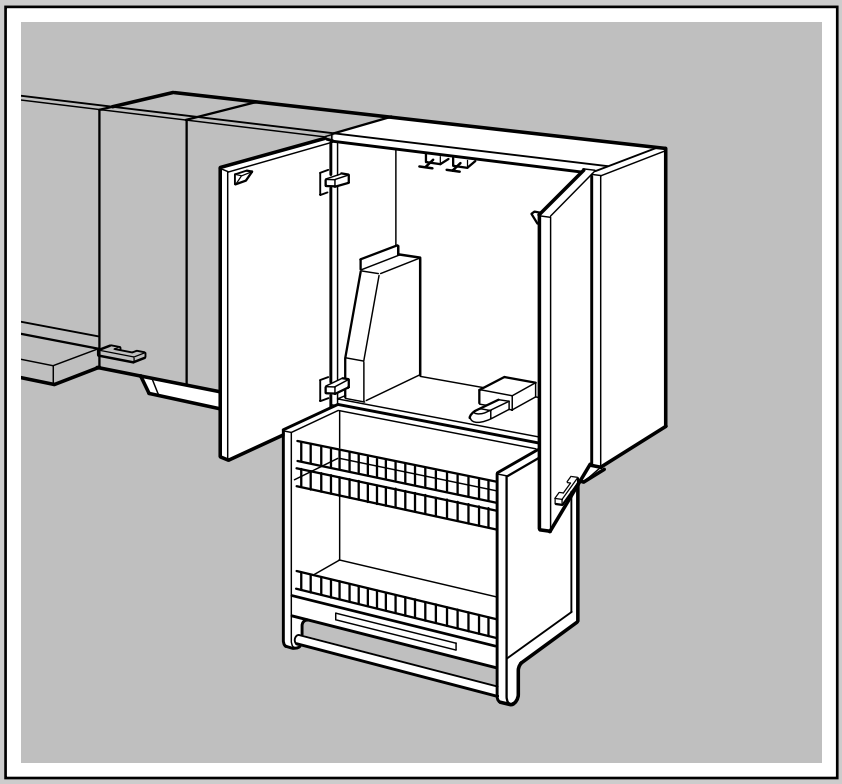
Panasonic

取付設置説明書

LEDライン照明

品番： 幅1500タイプ S25RM150
幅1650タイプ S25RM165
幅1800タイプ S25RM180

ソフトダウンウォールユニットへの取り付け（H900は除く）



もくじ

安全上のご注意	2
各部の名前	3
部材・部品表	3
製品寸法図	4
取り付け前に	5
取り付けかた	6
点検（仕上げ）	14

■この取付設置説明書とシステムキッチンの「取付設置説明書（総合編）」を合わせてよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
特に「安全上のご注意」は、取り付け前に必ずお読みいただき、安全に取り付けてください。
■電気配線工事は、「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に行ってください。
配線工事は、電気工事士の資格が必要です。
■梱包材や残材は、「廃棄物処理法」に従って適切に処理してください。
■開梱時に外観確認を行ってください。取り付け後に確認された傷、破損などは保証対象外となります。
■取り付け後（通電後）に必ず動作確認を行ってください。
お客様への引き渡し時（使い初め）に調整不備や電源の問題で正常動作しない場合には対応をお願いします。
■取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。
（取り付け完了後、使いかたを説明してください。）

800 145 000B
RXMACA

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った取付設置をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠警告

分解・修理・改造をしない

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

浴室や屋外などの湿気の多い場所で使用しない

水ぬれ禁止

この器具は防水ではありません。
火災・感電の原因となることがあります。

調光器と組み合わせて使用しない

禁止

調光機能が付いた壁スイッチなどと組み合わせて使用すると、過熱・火災の原因になることがあります。

電線を傷つけたり、加工したり無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない

禁止

電線が破損し、過熱・火災・感電の原因となります。

電源ボックスの設置されたウォールユニット内に液体の入った開封された容器を置かない

禁止

液体がかかると、感電や火災のおそれがあります。

裸電線は必ず充電部を絶縁処理する

必ず守る

ブレーカーが入ると、感電の原因となります。

電気工事は、法令・規程にしたがい、必ず「有資格者」が行う

必ず守る

火災の原因となります。

必ず交流100Vで使用する

必ず守る

100V以上の電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

消防法で定められた離隔距離を守って取り付ける

必ず守る

火災のおそれがあります。

取り付けは説明書に従い、確実に行う

必ず守る

火災・感電・落下によるけがのおそれがあります。

電源線を接続する場合や外す場合は、必ずブレーカーを切って行う

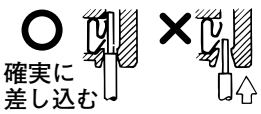
必ず守る

感電やショートの原因となります。

結線する場合、電源線を奥まで差し込む

必ず守る

差し込みが不十分な場合、発火するおそれがあり、焼損や火災の原因となります。



⚠注意

必ず指定のねじを使用する

必ず守る

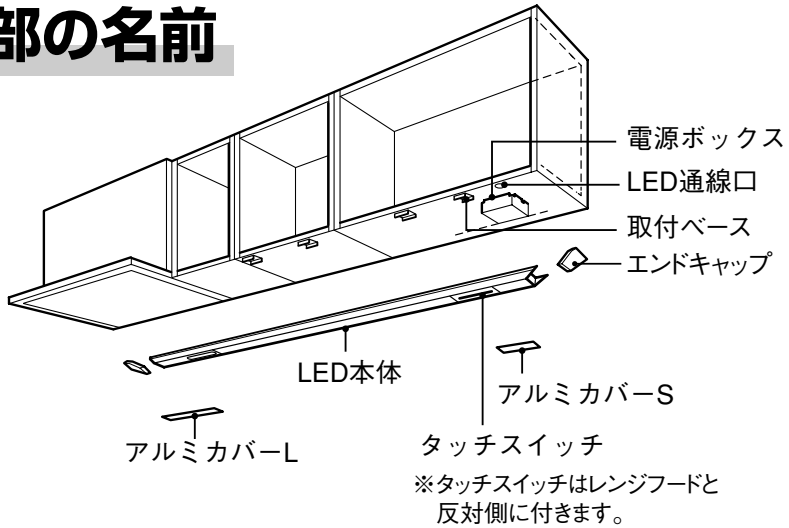
落下してけがの原因となります。

ねじを固定する場合は、必ず手回しドライバーで行い、締めすぎによるねじの空回り、頭（スリワリ⊕）つぶれのないようにする

必ず守る

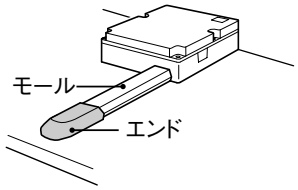
落下してけがの原因となります。

各部の名前

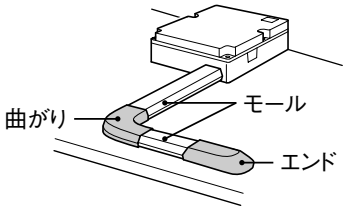


※タッチスイッチはレンジフードと反対側に付きます。

〈曲がりを使用しない場合〉



〈曲がりを使用する場合〉



部材・部品表

梱包の内容を確認してください。

〔寸法単位：mm〕

■LED本体

部材名 ＼ 品番	S25RM150	S25RM165	S25RM180
LED本体	1	1	1
アルミカバーL ※	1（L=115）	1（L=190）	1（L=265）
アルミカバーS ※	—	1（L=83）	1（L=158）

※本体にテープで仮固定されています。

■電源ボックス：25RMZB

部品名	入り数	部品名	入り数
電源ボックス	1	取付ベース	4
電源ボックス固定ねじ トラス⊕ ϕ4×45	4	取付ベース固定ねじ なべ⊕M3×20	4
電源ボックス固定用ワッシャ 4×10×1.6	4	バインド⊕M3×22	4
タッチスイッチ	1	皿ワッシャ	4
タッチスイッチ固定ねじ なべタッピング⊕ ϕ3×8	2	LED本体端部固定ねじ なべ⊕M3×16	2
中継コード L=150	1	ワッシャ	2
結束バンド	1	連結ナット	2
エンドキャップ（左・右）	各1	取付設置説明書 ●ソフトダウンウォール（H900は除く） ●フラップアップ	各1
		取扱説明書	1

■配線カバー LEDライン照明用：□□25PV2

部品名	入り数	部品名	入り数	部品名	入り数
モール カバー ベース 粘着テープ付	L=150 1	エンド	1	ジョイント **※使用しません**	1
				通線口パッキン	1
	L=130 1	曲がり	1	キャップ	6

品番中の□□には下記の記号が入ります。

3G：チャコール
4W：アイボリーホワイト
3W：スーパーホワイト

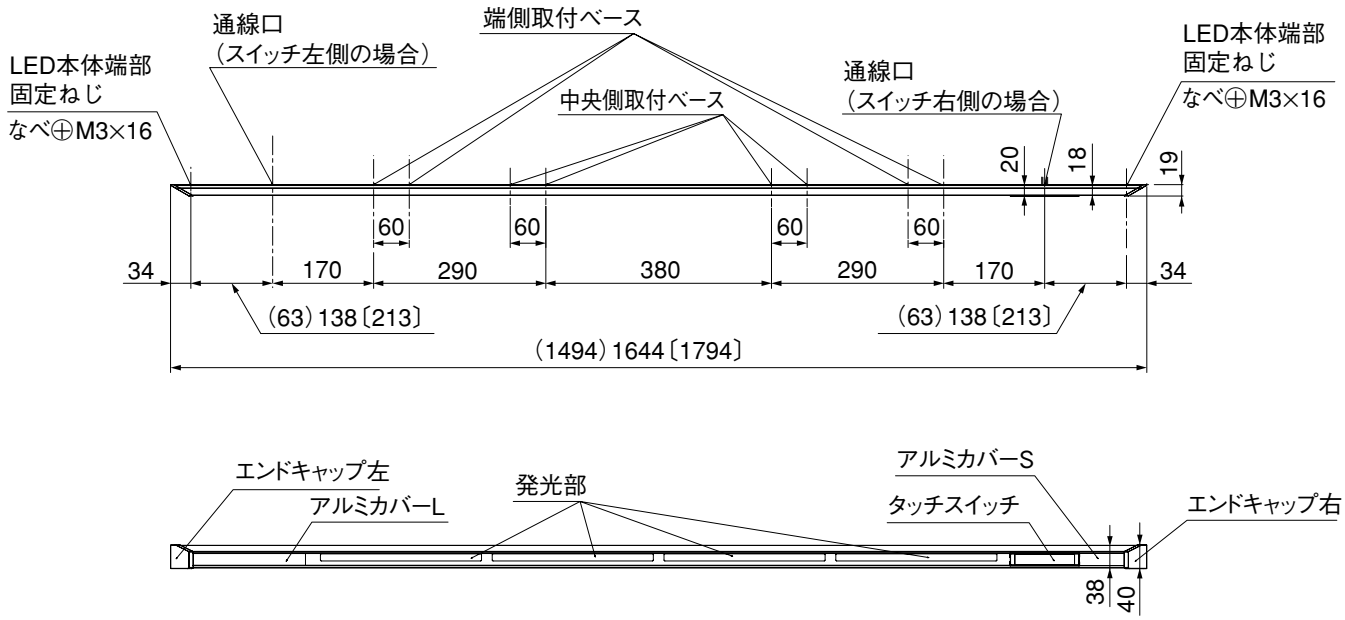
製品寸法図

〔寸法単位：mm〕

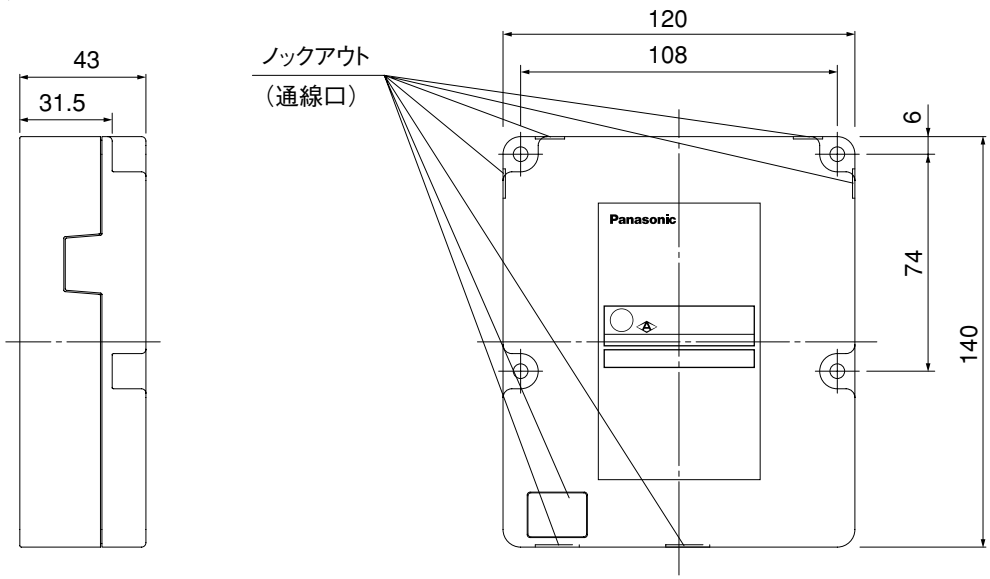
■LED本体

※図は幅1650タイプの場合。
（　）内寸法は幅1500タイプ、〔　〕内寸法は幅1800タイプの場合。

商品名	品番	対応ウォール幅
幅1500タイプ	**S25RM150**	1500以上
幅1650タイプ	**S25RM165**	1650以上
幅1800タイプ	**S25RM180**	1800以上



■電源ボックス



■仕様

品　番		使用電圧	周波数	消費電力	光源入力電圧
照明	**S25RM150／S25RM165／S25RM180**	交流 100V	50Hz／60Hz	19W（点灯時） 0.5W（待機時）	直流 28V
電源ボックス	**25RMZB**				

取り付け前に

〔寸法単位：mm〕

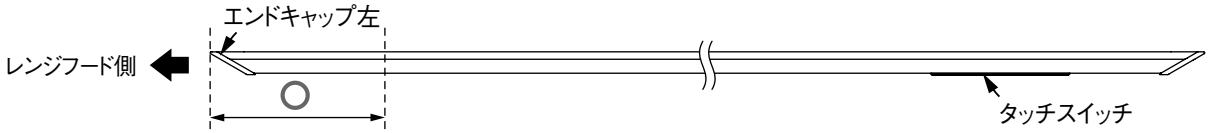
お願い 壁面がねじれなどなく、水平・垂直であることを確認してください。
斜めになっているとユニットが傾いたり、段差ができ、LED本体が曲がったり、すき間が目立つおそれがあります。

■LED本体取り付け位置

※（　）内は幅1500タイプ、〈　〉内は幅1650タイプ、〔　〕内は幅1800タイプの場合。

〈幅方向〉加熱機器周辺には消防法上の離隔距離が必要です。必ずプラン図でLED本体の取り付け位置を確認し、取り付けてください。

※LED本体はレンジフード側（147）〈222〉〔297〕mmまで、各加熱機器で定められた消防法上の離隔距離の範囲内に入れることができます。ただし、レンジフードとは3mm以上の距離をあけてください。



（147）〈222〉〔297〕
消防法上の離隔距離に入れられる範囲

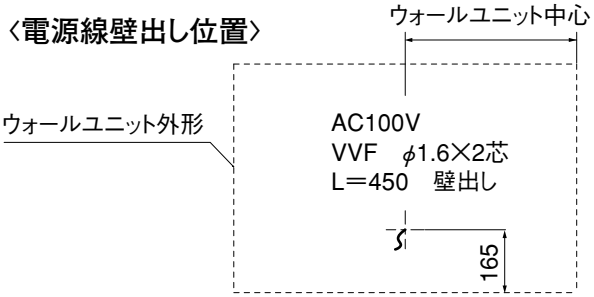
■配線方法　LED本体の取り付け位置を決め、電気配線位置にVVFケーブルを引き込んでください。

●LED本体のタッチスイッチが、レンジフードと反対側にくるように取り付ける。

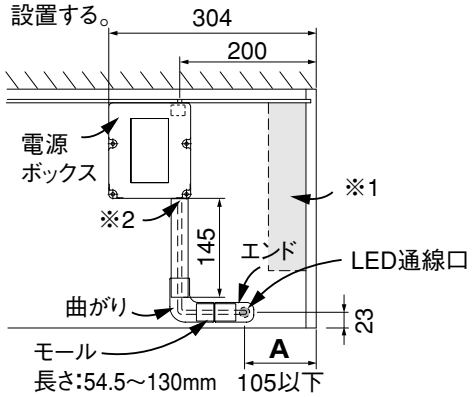
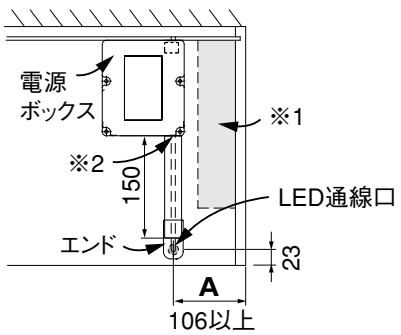
● LEDの電源線（AC100V仕様・VVFケーブル2芯ϕ1.6またはϕ2）は、タッチスイッチ（LED本体の通線口）のある真上のウォールユニット中央に出す。

●電源は関連する法令規則などに従って、ブレーカーを通し接続する。

〈電源線壁出し位置〉

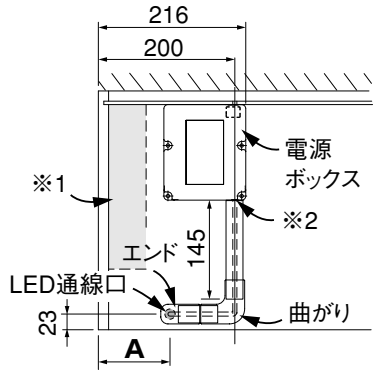
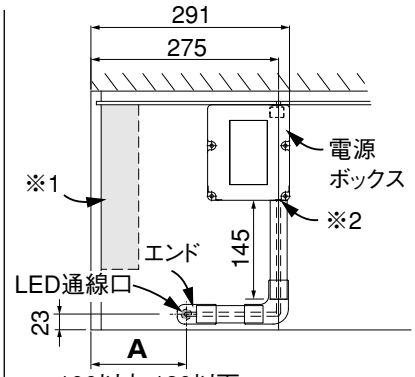
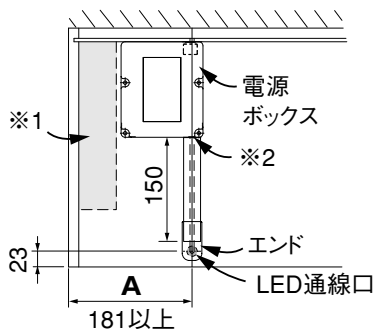


〈電源ボックス設置位置〉 **A**：LED通線口の距離（設備図面参照）

	A≦105	106≦A
LED通線口がユニットの右寄りにある場合	曲がりを使用し、ソフトダウンメカ部や仮置き棚設置プレートなどと電源ボックスが干渉しないように設置する。 	LED通線口と電源ボックスが一直線になるように設置する。 

※1 ソフトダウンメカ部
仮置き棚設置プレートなど

※2 ノックアウトカット部分

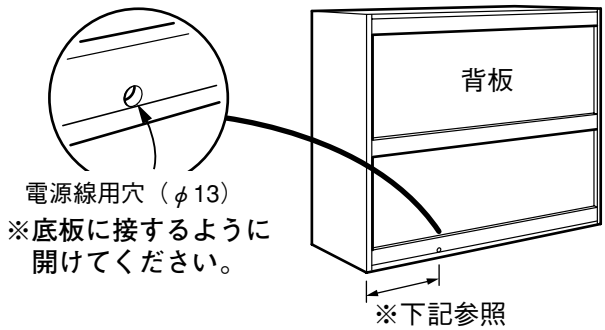
	A≦105	106≦A≦180	181≦A
LED通線口がユニットの左寄りにある場合	曲がりを使用し、ソフトダウンメカ部や仮置き棚設置プレートなどと電源ボックスが干渉しないように設置する。 		LED通線口と電源ボックスが一直線になるように設置する。 

取り付けかた

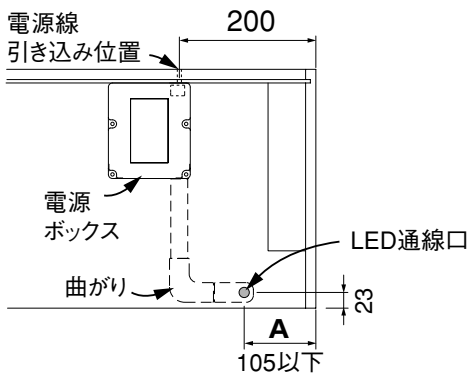
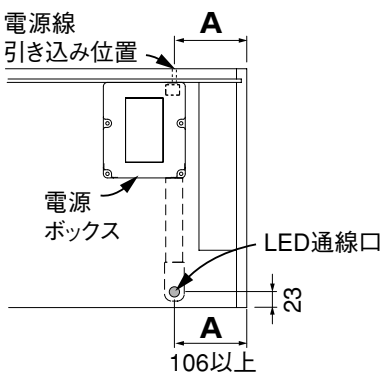
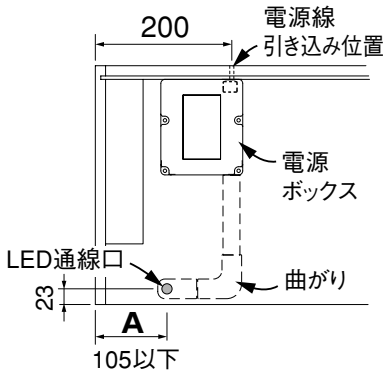
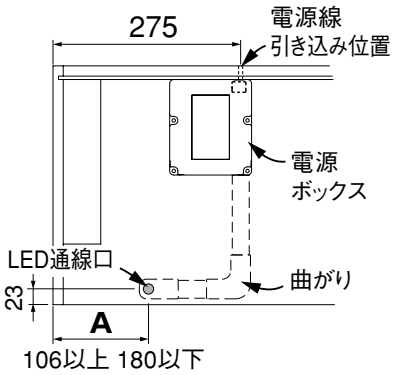
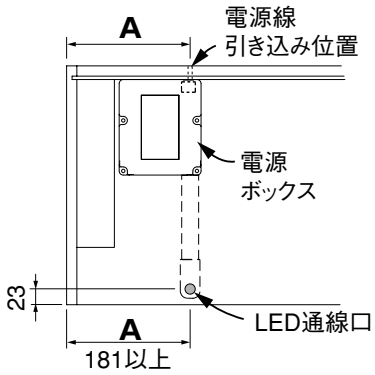
〔寸法単位：mm〕

1 ユニットの準備

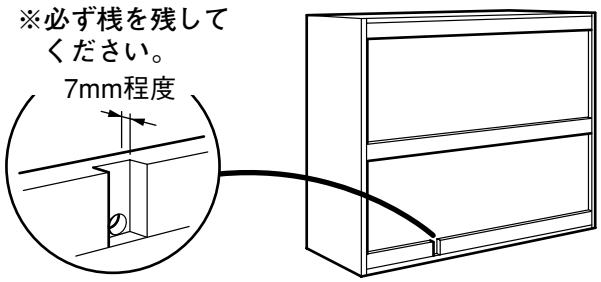
1. 背板の電源線引き込み位置に穴をあける。（φ13）



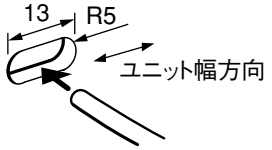
〈電源線引き込み位置〉　**A**：LED通線口の距離（設備図面参照）

<table>
<tr><th></th><th colspan="2">ユニットの端から200または275の位置に
電源線用穴をあける。</th><th>LED通線口と一直線上の背板に
電源線用穴をあける。</th></tr>
<tr><th></th><th colspan="2">A≦105</th><th>106≦A</th></tr>
<tr><td>LED通線口がユニットの右寄りにある場合</td><td colspan="2">曲がりを使用
  </td><td>  </td></tr>
<tr><th></th><th>A≦105</th><th>106≦A≦180</th><th>181≦A</th></tr>
<tr><td>LED通線口がユニットの左寄りにある場合</td><td>曲がりを使用
  </td><td>曲がりを使用
  </td><td>  </td></tr>
</table>

2. 電源線が通る部分の桟を切り欠く。



φ13のドリルがない場合は電源線が入るように、φ10のドリルを使用して図のような長穴に加工してください。

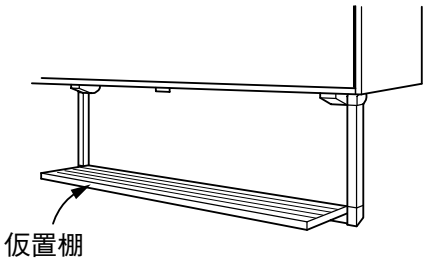


2 ユニットの壁面固定

電源線をユニットに引き込み、壁面固定する。

※システムキッチンの「取付設置説明書(総合編)」・ソフトダウンの「取付設置説明書」参照。

仮置棚と並設する場合は、LED本体取り付け前に
仮置棚を取り付ける。



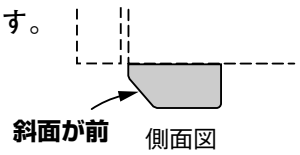
3 LED本体の準備 ※図は右側にスイッチを取り付ける場合

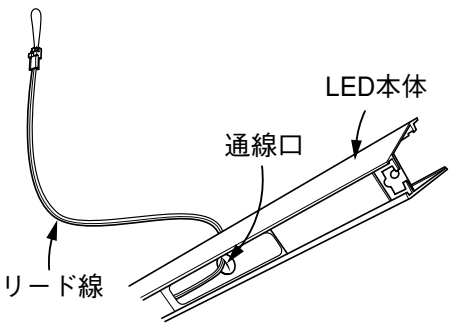
LED両端の段ボール製かんしょう材は保護のため、アルミカバーの取り付けまで外さないでください。

1. タッチスイッチを取り付ける。

①LED本体の前後を確認し、レンジフードと反対側の通線口にリード線を通す。

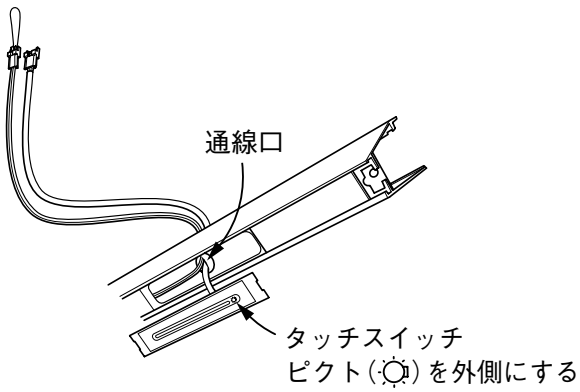
※斜面が前面になります。

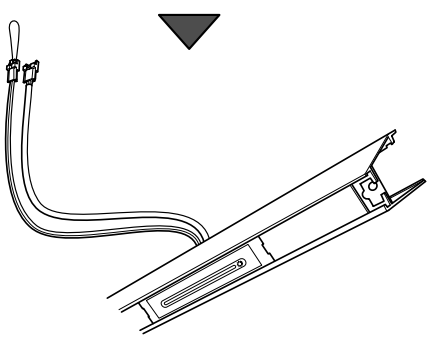




②通線口にリード線とタッチスイッチの配線を通し、タッチスイッチをはめ込む。

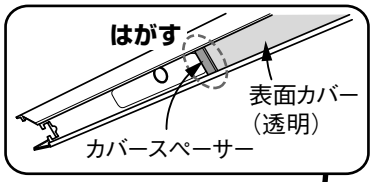
お願い タッチスイッチ面を強い力で押さないでください。
故障の原因となります。



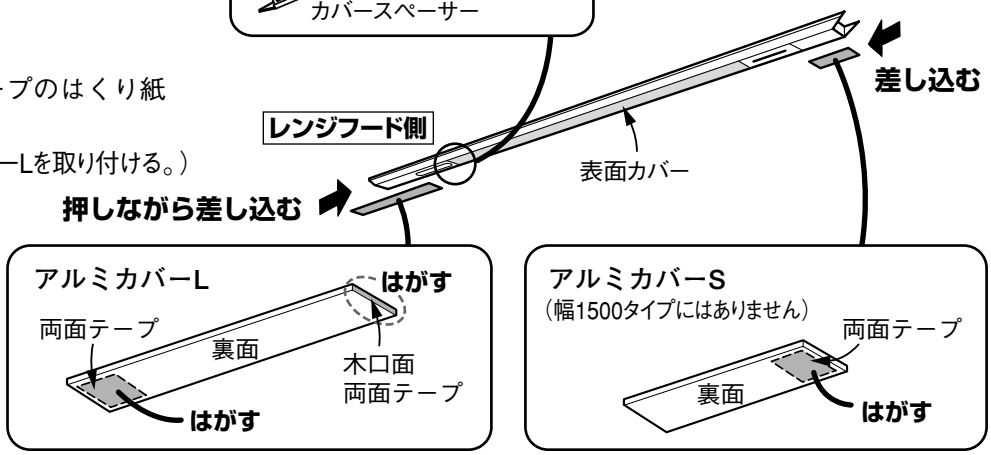


2. アルミカバーL・Sを取り付ける。

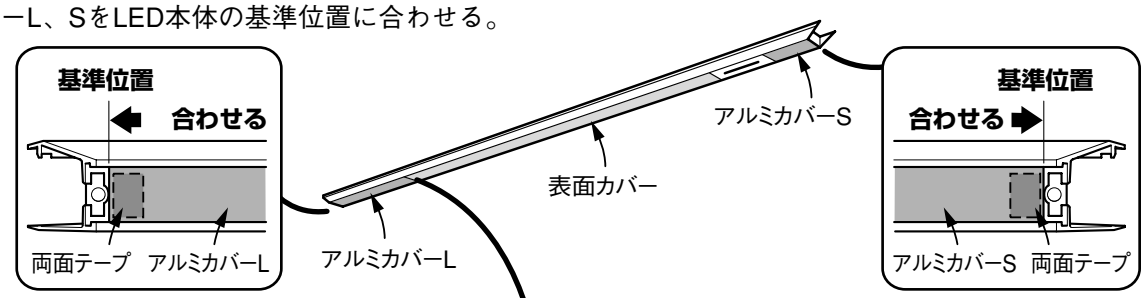
①レンジフード側のカバースペーサーを
表面カバーの木口からはがす。



②アルミカバーの両面テープのはくり紙
をはがして差し込む。
（レンジフード側にアルミカバーLを取り付ける。）

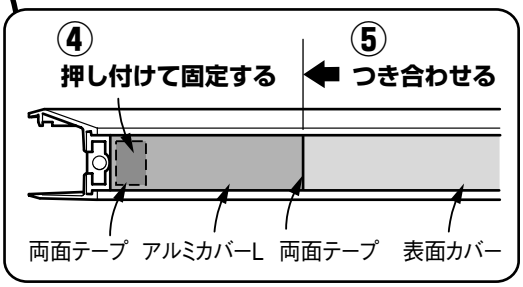


③アルミカバーL、SをLED本体の基準位置に合わせる。



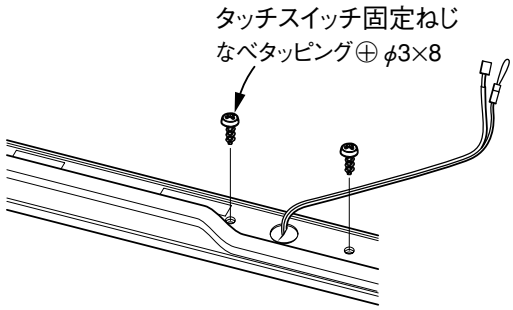
④アルミカバーの両面テープ部分を押し付けて固定する。

⑤表面カバーがアルミカバーLと木口の両面テープで
接着されるようにつき合わせる。



3. タッチスイッチを裏面からねじで固定する。

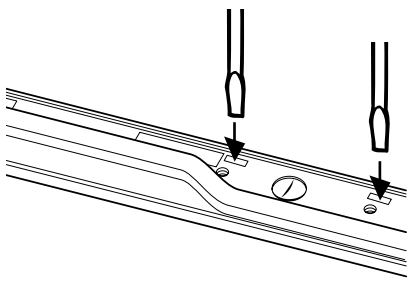
お願い
- **必ず手回しドライバーで締めてください。**
  故障の原因となります。
- **リード線のかみ込みがないか、よく確認してから**
  ねじを締め付けてください。
  断線のおそれがあります。



〈参考〉タッチスイッチの外しかた

間違えて取り付けてしまった場合は、下記のようにタッチスイッチを外す。

①タッチスイッチ固定ねじを外す。
②マイナスドライバーを差し込んで、ピンを押す。

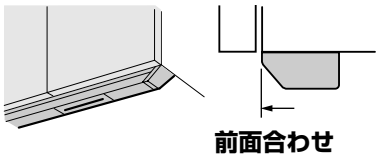


4 LED本体の取り付け

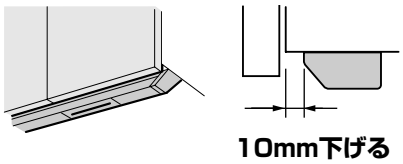
LED本体の取り付け位置（奥行き方向）

扉勝ちの場合は、手掛かりのため、10mm奥へ下げてください。

〈通常扉の場合〉

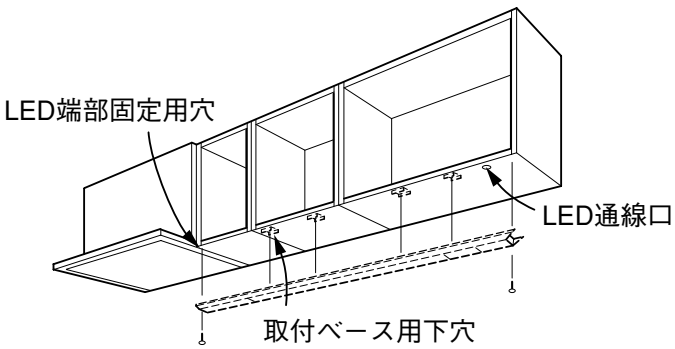


〈扉勝ちの場合〉



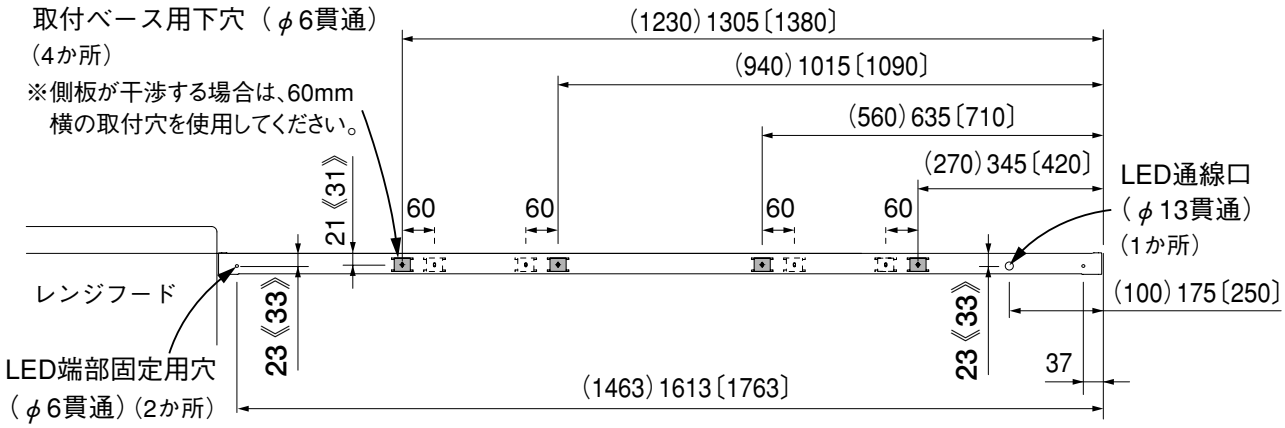
1. ユニット底面のLED通線口（1か所）・取付ベース（4か所）・LED端部固定ねじ（2か所）位置に穴をあける。

お願い 加工によって出た木くずは除去してください。

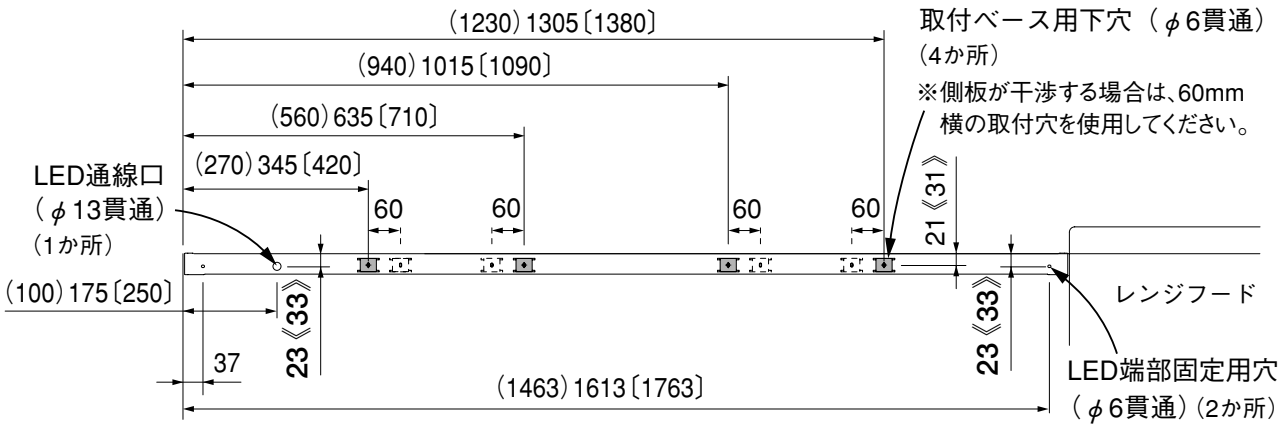


■下穴位置（底面図） ※図は幅1650タイプの場合。（ ）は幅1500タイプ、〔 〕は幅1800タイプの場合。※《 》は扉勝ちの場合。

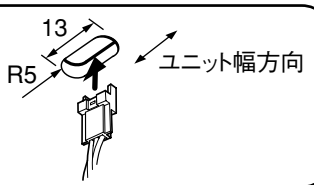
〈レンジフードが左側（スイッチが右側）の場合〉



〈レンジフードが右側（スイッチが左側）の場合〉

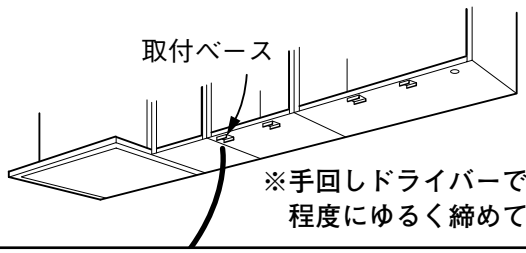


φ13のドリルがない場合はコネクタが入るように、φ10のドリルを使用して図のような長穴に加工してください。



2. 取付ベースをユニット底面に取り付ける。
（4か所）

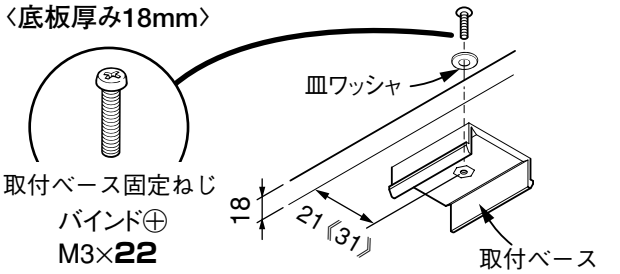
お願い **ねじの長さを間違わないように注意してください。**
LED内部の破損やすき間の原因となります。



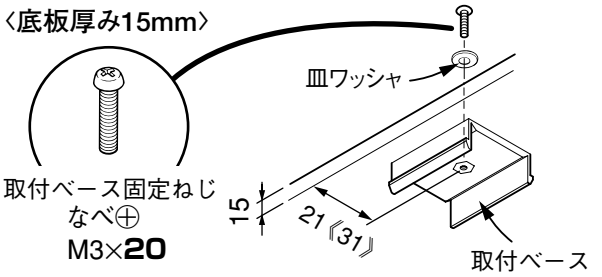
※手回しドライバーで軽く回転する程度にゆるく締めてください。

※《 》内寸法は扉勝ちの場合。

〈底板厚み18mm〉



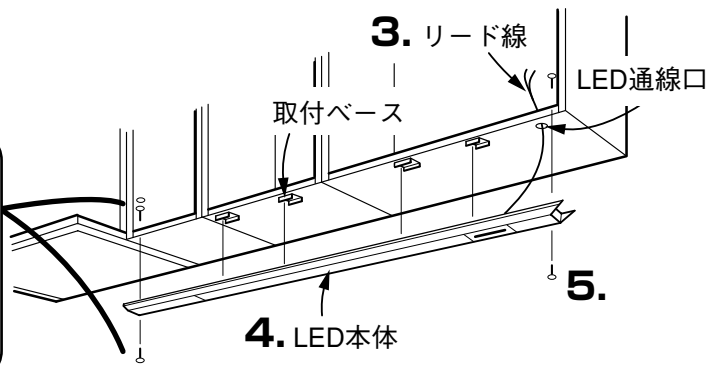
〈底板厚み15mm〉



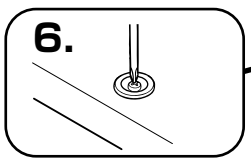
3. LED本体のスイッチ部から出ている
リード線をLED通線口に通す。

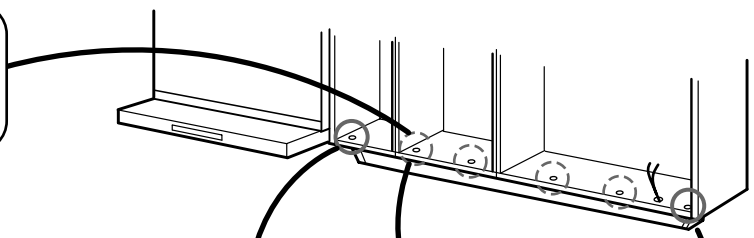
4. LED本体を取付ベースにはめ込む。

5. LED本体の端部を
連結ナットとねじ
で固定する。
（2か所）

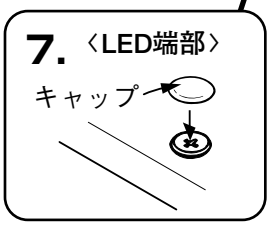


6. 手回しドライバーで、
取付ベース固定ねじ
を締めつけ、固定する。
（4か所）



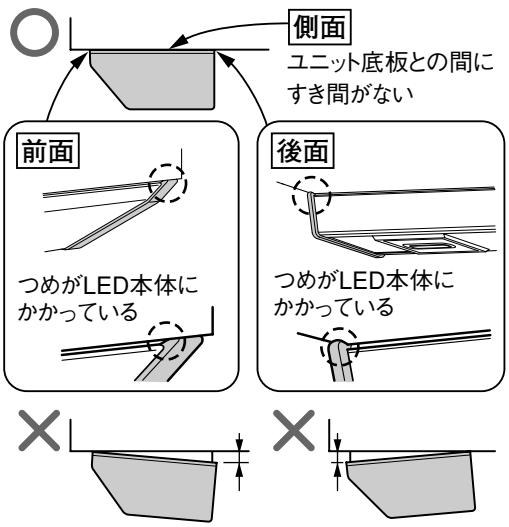


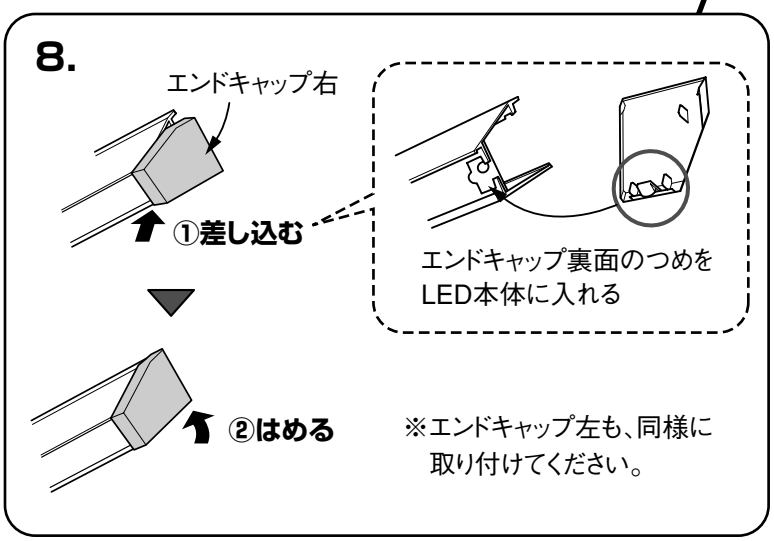
7. 見えている各取り付けねじの頭に、
キャップを取り付ける。



8. LED本体の両端にエンドキャップを
取り付ける。

お願い **取り付け後、納まりを確認してください。**

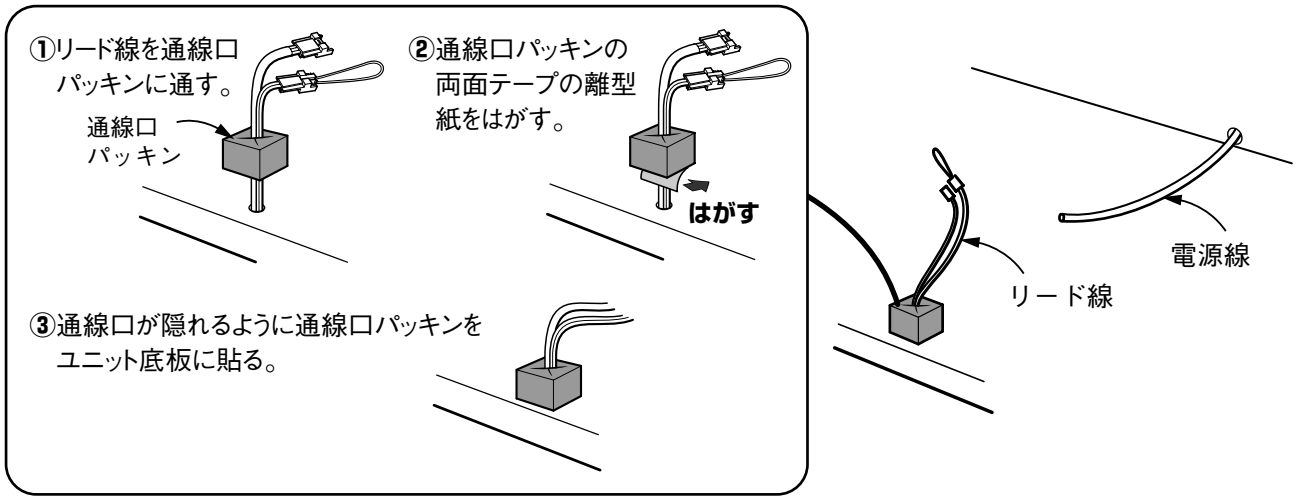




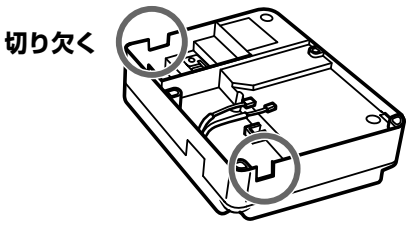
5 電源ボックスの取り付け

※電源線の接続を別の業者に依頼される場合、11・12ページの2〜5の作業を依頼してください。

1. リード線を通して通線口パッキンを貼る。



2. 電源ボックスの通線部(ノックアウト)を切り欠く。



3. 電源線・中継コードを電源ボックスに接続する。

⚠警告

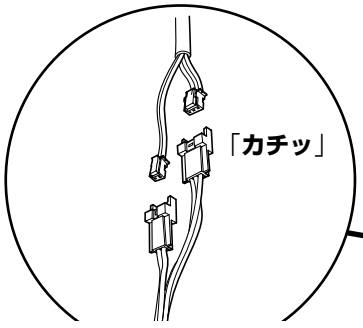
必ず守る

結線する場合、電源線を奥まで差し込む

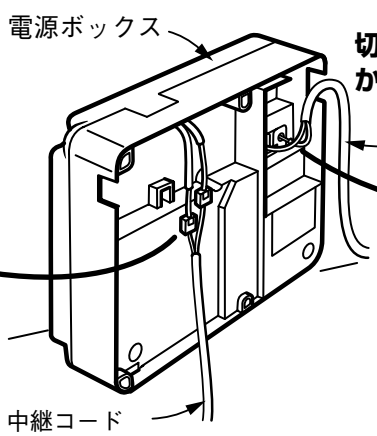
差し込みが不十分な場合、発火するおそれがあり、焼損や火災の原因となります。

○ 確実に差し込む　×

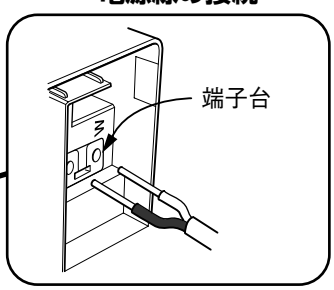
中継コードの接続



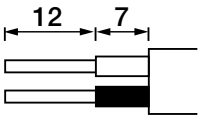
※接続時に「**カチッ**」と音がすることを確認する。



電源線の接続



ストリップゲージ

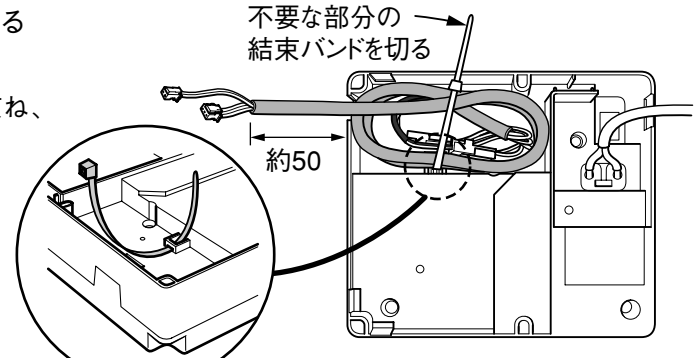


適用電線

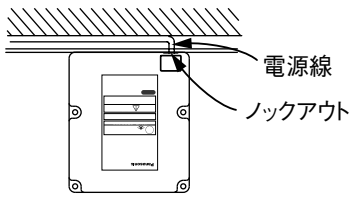
AC100V・VVFケーブルϕ1.6またはϕ2銅単線専用

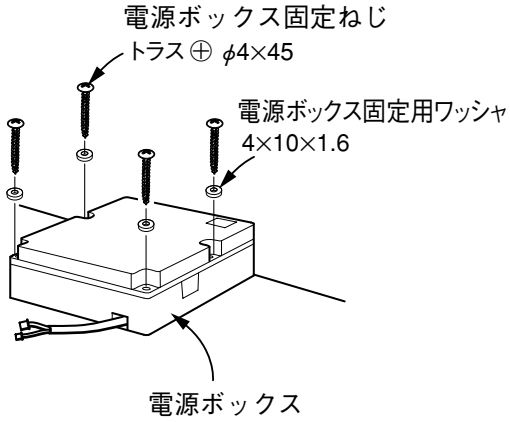
4. 配線ボックスの外に中継コードが約50mm出るように配線を整える。

※あまった配線は電源ボックスの裏側の空間で束ね、結束バンドで固定してください。



5. 電源線引き込み穴とノックアウトを合わせるように電源ボックス固定ねじ4本で固定する。





お願い **電源線を接続したまま放置しないでください。**
ねじ固定しないと、電源線や電源ボックスに強い力がかかったときに破損するおそれがあります。

6 配線カバーの取り付け

1. 通線位置に応じて、モールの長さをカットする。

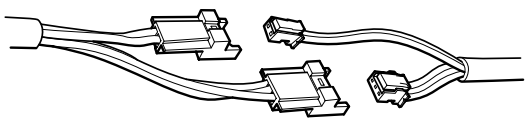
2. 粘着テープでモールのベースを底板・背板に貼る。

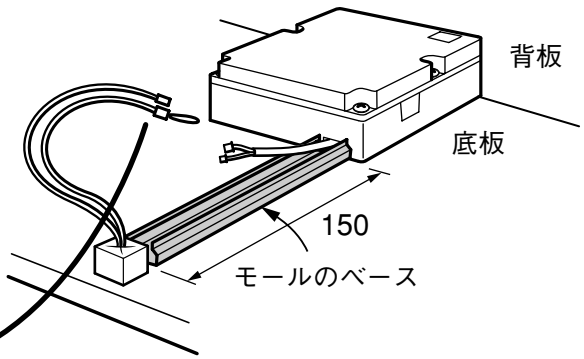
3. リード線と中継コードを接続する。

①短絡リード線を外す。

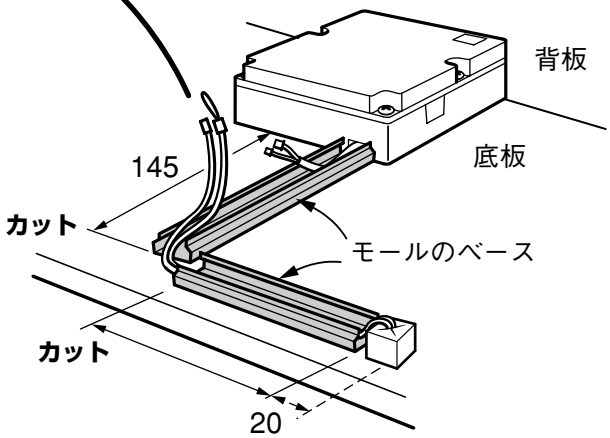
②コネクタ内にごみが入っていないことを確認し、接続する。

※接続時に「**カチッ**」と音がすることを確認する。

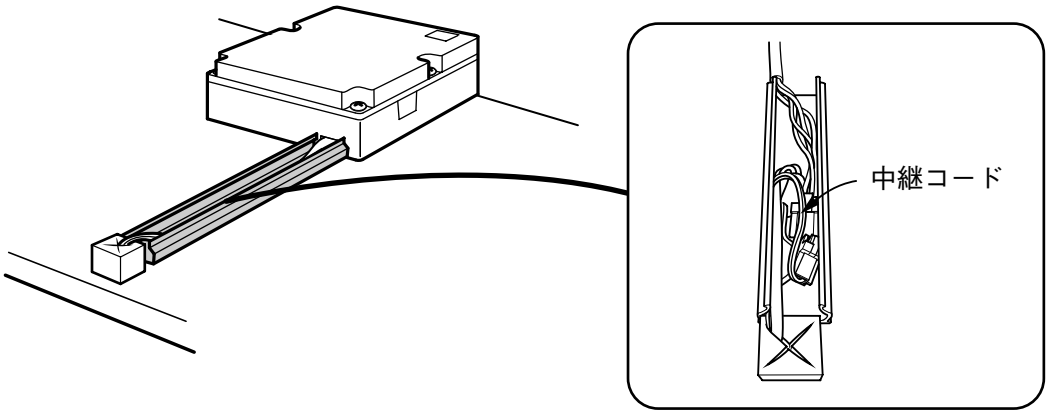




〈曲がりを使用する場合〉

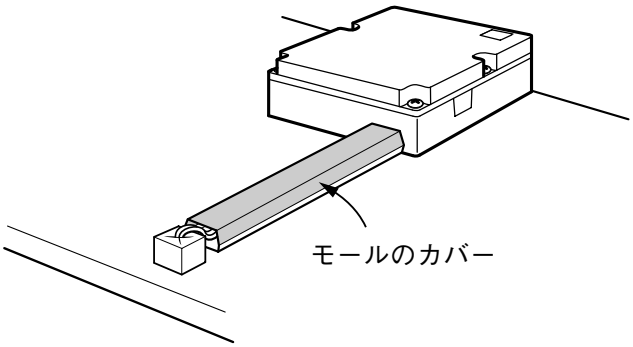


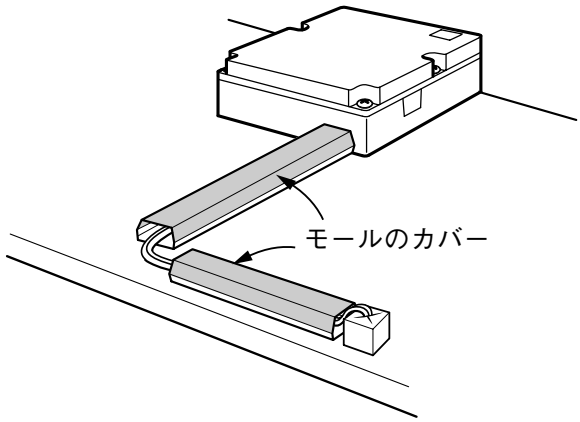
4. モール内の中継コードを整える。



5. モールのカバーを取り付ける。

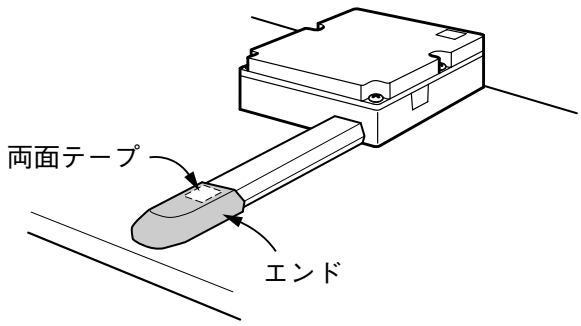
〈曲がりを使用する場合〉

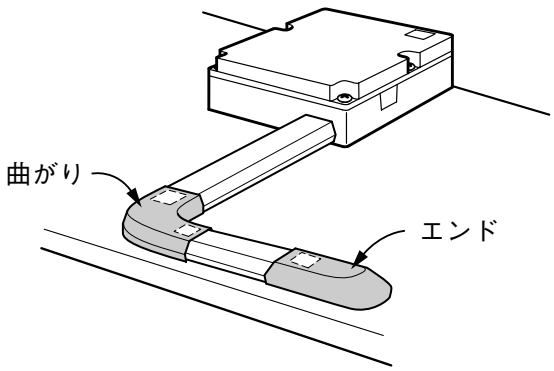




6. エンド、曲がり裏面の両面テープの離型紙をはがし、取り付ける。

〈曲がりを使用する場合〉





7 ソフトダウンの取り付け

※ソフトダウンの「取付設置説明書」参照。

点検（仕上げ）

表に従い、仕上がりをチェックしてください。

チェック項目		チェック
点灯／消灯の確認をしましたか？		
点灯しない場合	コネクタの接続がまちがえていないか？	
	200Vの電源を接続していないか？ ※	
がたつきはありませんか？		
ウォールユニット底面とLED照明の間にすき間がないか？		

※200Vの電源を接続した場合は、100Vへ接続しなおすと使用可能です。

MEMO

パナソニック株式会社　水廻りシステムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Corporation 2012
DC0711-2112